

危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(5)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物は引火性を有するものがある。【 】
- (2) 第2類の危険物の比重は1より大きいものが多い。【 】
- (3) 粉じんが発生する場所の電気設備は防爆構造のものを使用する。【 】
- (4) 粉じん状の金属は、飛散を防ぐため加湿する。【 】
- (5) 固形アルコールの火災では水による消火が有効である。【 】
- (6) 三硫化リンはベンゼンや二硫化炭素に溶ける。【 】
- (7) 純粋な赤リンは、空気中に放置しても自然発火しない。【 】
- (8) 赤リンと塩素酸カリウムの混合物はわずかな衝撃でも発火する。【 】
- (9) 硫黄は水と接触すると発熱する。【 】
- (10) すべての鉄粉は危険物に分類される。【 】
- (11) アルミニウム粉は酸及び強塩基の水溶液と反応して酸素を発生する。【 】
- (12) アルミニウム粉は銀白色の金属粉である。【 】
- (13) 亜鉛粉は空気中では表面に酸化膜ができる。【 】
- (14) マグネシウムを燃やすと、黄色の炎が出る。【 】
- (15) 引火性固体は無臭である。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第2類危険物)・正誤(5)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第2類の危険物は引火性を有するものがある。 【○】
第2類の危険物には引火性固体が含まれる。
- (2) 第2類の危険物の比重は1より大きいものが多い。 【○】
引火性固体の一部を除き、比重は1より大きい。
- (3) 粉じんが発生する場所の電気設備は防爆構造のものを使用する。 【○】
防爆構造のものを使用する。
- (4) 粉じん状の金属は、飛散を防ぐため加湿する。 【×】
アルミニウム粉などは水と反応する。
- (5) 固形アルコールの火災では水による消火が有効である。 【○】
水による消火が有効である。
- (6) 三硫化リンはベンゼンや二硫化炭素に溶ける。 【○】
ベンゼンや二硫化炭素に溶ける。
- (7) 純粋な赤リンは、空気中に放置しても自然発火しない。 【○】
純粋な赤リンは自然発火しない。黄リンは自然発火する。
- (8) 赤リンと塩素酸カリウムの混合物はわずかな衝撃でも発火する。 【○】
わずかな衝撃でも発火する。
- (9) 硫黄は水と接触すると発熱する。 【×】
水に不溶で、発熱することはない。
- (10) すべての鉄粉は危険物に分類される。 【×】
一片の大きさが大きいものは分類されない。
- (11) アルミニウム粉は酸及び強塩基の水溶液と反応して酸素を発生する。 【×】
両性元素。酸及び強塩基と反応して水素を発生する。
- (12) アルミニウム粉は銀白色の金属粉である。 【○】
銀白色の金属粉である。
- (13) 亜鉛粉は空気中では表面に酸化膜ができる。 【○】
空気中で酸化膜ができる。
- (14) マグネシウムを燃やすと、黄色の炎が出る。 【×】
白光を放って燃焼する。
- (15) 引火性固体は無臭である。 【×】
固形アルコールはアルコールと同様の臭気がある。